

V 種類別明細書(減少資産用)の記載方法

<年度>
申告の年度を記載してください。

<所有者コード、抹消コード>
記載する必要はありません。

<資産の名称等>
減少した資産の名称等を記載してください。

<資産の種類>
下の表に対応する数字を記載してください。

番号	資産の種類
1	構築物（建物附属設備を含む）
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

<小計>
ページごとの減少した資産の取得価額の
小計を記載してください。
増減資産申告の場合、この欄の額の合計は
償却資産申告書の取得価額(□)（前年中に減
少したもの）の合計と同じです。

<取得年月>
減少した資産の取得年月を和暦で記載して
ください。
なお、年号については、1. 明治、2. 大
正、3. 昭和、4. 平成、5. 令和とし、そ
れぞれの年号に対応する数字を記載してくだ
さい。

<数量>
減少した資産の数量を記載してください。

令和 8 年度

種類別明細書(減少資産用)

行 番 号	資 産 の 種 類	抹 消 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月			取 得 価 額
					年 号	年 月	十 分 年	
01	2		オープン		13	6	05	
02	2		ハツコウキ		13	6	06	
03	2		切断機		14	14	01	
04	6		作業台		24	02	11	
05								
06								
07								
08								
09								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
小 計								

減少した資産の取得価額を記載してください。

当該資産の耐用年数を記載してください。

当該資産について、最初に申告した年度を記載してください。

当該資産が減少した事由とその区分について、該当する番号をそれぞれ○で囲んでください。

また、この「種別別明細書（減少資産用）」について、3枚のうち2枚目というようにページ数を付けてください。

当該資産について、次のような事項を記載してください。

- ① 当該資産が減少した事由について、
「1 売却」の場合は、その売却先の名称等
「2 滅失」の場合は、その滅失の理由等
「3 移動」の場合は、その受け入れ先の所在地等
「4 その他」の場合は、その減少の理由
- ② 減少の区分が「2 一部」に該当する場合は、当該資産の取得価額等
(例) 当初取得価額112万5千円(数量3)のうち75万円(数量2)減少
- ③ その他当該資産が減少したことについて必要な事項
- ④ 前年より前に減少した資産の申告がもれていた場合、減少した年月の表示(例「令和5年3月減少」)

※ 耐用年数が経過して減価償却が終了した資産(償却済資産)であっても、事業の用に供することができる状態にある限り、償却資産の課税対象となりますので、減少資産に計上しないでください。

[illegible]